

2016年 2月21日(日)

開演 15:00 (開場 14:00)

新宿文化センター 大ホール

全席自由 2,000円

ヘンデル

Georg Friedrich Händel

ジョージ2世の

戴冠式アンセム

Coronation Anthems

ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

交響曲第九番 [合唱]

Sinfonie Nr. 9

指揮

河地 良智

YOSHINORI KAWACHI

ソプラノ

弓田 真理子

MARIKO YUMITA

アルト

田辺 いづみ

IZUMI TANABE

テノール

田 大成

TAISEI DEN

バリトン

青戸 知

SATORU AOTO

管弦楽

日之出フィルハーモニー管弦楽団

合唱

フィルハーモニック・コーラス



ヘンデル ジョージ2世の戴冠式アンセム *Coronation Anthems* Georg Friedrich Händel

ベートーヴェン 交響曲第九番 [合唱] *Sinfonie Nr. 9* Ludwig van Beethoven

バロック音楽を代表する作曲家ヘンデル(1685-1759)は管弦楽や鍵盤楽器のための曲、またオペラやオラトリオなど大変多くの作品を残しました。とりわけ、有名な「メサイア」のハレルヤ・コーラスなどに代表される合唱作品は魅力に溢れています。日本での演奏機会こそ少ないですが、「戴冠式アンセム」も例外ではありません。明るく美しい旋律、壮麗なハーモニー、そして常に前進するリズムがヘンデルならではの輝きに満ちた世界をつくり出します。国王の即位を祝う讃歌ですが、「式典」の枠を超え、純粋に音楽の感動と喜びを私たちに届けてくれます。

ベートーヴェン(1770-1827)の交響曲第9番は、第1楽章から第3楽章までオーケストラによってのみ演奏されます。そして第4楽章で独唱者と合唱が加わり、ベートーヴェンが生涯をかけて追求した理想の世界が人の声と言葉で高らかに表現されます。親しみのある旋律の「喜びの歌」や、その後に展開される時に神秘的で時に壮大かつ力強い音楽は合唱の醍醐味と言えます。第1楽章冒頭の不思議な静寂から始まるベートーヴェンの音楽の道のりにじっくりと耳を傾け、最終楽章の人類への讃歌を会場の全ての人々と体験したい作品です。



指揮
河地 良智 Yoshinori Kawachi

桐朋学園大学指揮科に学び、斉藤秀雄、秋山和慶の両氏に師事。1973年、第3回民音指揮コンクール(現東京国際指揮コンクール)で奨励賞受賞。二期会オペラやN響定期公演などで、W.サヴァリッシュ氏、O.スウィトナー氏などの副指揮者を務め、1975年、群響正指揮者に就任。1983年より文化庁海外派遣員としてドイツ・バイエルン国立歌劇場でW.サヴァリッシュ氏、ミラノ・スカラ座でG.パタネ氏等について積極的に歌劇場での研鑽を積む。帰国後、日・米・伊共同国際ワークショップにおいて「蝶々夫人」のプレジャ版を初演。二期会渡欧旅行公演同行の際は、ベオグラード・フィル、ハンガリー国立歌劇場管弦楽団を指揮する。音楽之友社の企画する「モーツァルト・オペラ全曲シリーズ」21曲全曲の音楽監督、指揮者を務める。その後、国際交流にも力を注ぎ、それらの貢献により、北京市中日交流センター、オーストリア・ブルゲンラント州、諫早市より文化特別賞を受ける。洗足学園音楽大学教授、音楽学部長及び同大学院長、東京芸術大学講師などを経て洗足学園音楽大学副学長を務める。そして音楽の国際交流や後進の指導にも力を注いでいる。



ソプラノ 弓田 真理子 Mariko Yumita

洗足学園音楽大学声楽科卒業。同専攻科修了。「魔笛」パミーナ役をはじめ「蝶々夫人」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「魔弾の射手」「ラ・ボエム」等数多くのオペラ、「千人の交響曲」「メサイア」、ハンガリー・リスト音楽院ホールでの「第九」やWIENER VIRTUOSENとの共演等、多方面に活躍の場を広めている。07年皇居内桃華楽堂において、天皇皇后両陛下をはじめとする皇族方の御前で「蝶々夫人」の aria 等を歌った。11年のリサイタルは好評を博した。二期会、横浜シティオペラ、東京室内歌劇場各会員。福島オペラ協会理事。



メゾソプラノ 田辺 いづみ Izumi Tanabe

国際基督教大学及び国立音楽大学卒業、国立音大大学院修了。「カルメン」「アイダ」「アンドレア・シェニエ」「ワルキューレ」「神々の黄昏」「ジャンニ・スキッキ」等に出演の他、リゲティ「ル・グラン・マカープル」、プロコフィエフ「修道院での結婚」等の日本初演に主要キャストとして出演。ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリヤ」、デュリュフレ「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」等のアルトソロを務める。丸の内合唱団、混声合唱団シヨコラ他ヴォイストレーナー。二期会会員。



テノール 田 大成 Taisei Den

中国四川省出身。中国陝西(せんせい)師範大学音楽学部声楽科教授。洗足学園音楽大学客員教授。東京芸術大学大学院博士課程を修了、音楽博士号(声楽)を取得。98年パリ短期留学。「ボエム」「椿姫」「カルメン」「アイダ」「ドン・ジョヴァンニ」などのオペラの主役、「第九」「レクイエム」「メサイア」などのソリストとして活躍。数々のリサイタルを開催。CD3枚をリリース。また、2005年から2015年にかけて、芸術総監督を務め、日中合同オペラ「カルメン」「椿姫」など五つのオペラを西安市で初公演。著書「オペラ演奏と研究」「フォーレ歌曲精選」がある。



バリトン 青戸 知 Satoru Aoto

東京芸術大学首席卒業。桃華楽堂御前演奏会に出演。同大学院修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本を代表するバリトンとして数々のオペラ、コンサートで活躍。サヴァリッシュ、アシュケナージ、デュトワ、ジョン・ミヨン・ファン、小林研一郎等世界的指揮者から賛辞を寄せられ、河地氏とは東芝フィルハーモニーオーケストラのヨーロッパ遠征演奏旅行で共演し、国外でも好評を博す。フィルハーモニック・コーラスとは、昨年に続き、二回目の共演である。聖徳大学大学院博士課程論文「グスタフ・マーラーの音楽におけるやわらかいリズム」により博士号取得。聖徳大学音楽学部講師 日本声楽アカデミー会員 二期会会員。

オーケストラ 日之出フィルハーモニー管弦楽団

2012年10月に発足した、首都圏在住の若手音楽家たちによる正統派オーケストラ。自主公演の中では毎回「超有名曲プログラム」を取り上げている。また、オーケストラのみに留まらず室内楽形式での演奏活動や、中高生への合奏・個人指導などといった後進の指導にも力を入れる。2014年10月より「日之出交響楽団」から「日之出フィルハーモニー管弦楽団」に名称変更し、国内外より更なる活躍を期待されている。

コーラス フィルハーモニック・コーラス

2006年に結成された20歳代中心の混声合唱団。「夢・若さ・行動力」をモットーに、ベートーヴェンの「苦悩を通して歓喜に至れ」の精神に基づいて音楽を追求し一歩でも音楽の神髄に近づくことを目的として活動している。偉大な作曲家達の遺した素晴らしい作品の数々を多くの仲間と歌いたく、輪を広げている。2010年に第1回演奏会を開催。2011年の第2回演奏会からオーケストラとの共演による作品に取り組んでいる。



新宿区立 新宿文化センター 大ホール

東京都新宿区新宿6-14-1 Tel : 03-3350-1141

【東京メトロ副都心線/都営大江戸線】

東新宿駅 A3出口より徒歩5分

【東京メトロ丸の内線/副都心線】

新宿三丁目駅 E1出口より徒歩7分

【都営新宿線】新宿三丁目駅 C7出口より徒歩10分

【JR線/京王線/小田急線】新宿駅東口より徒歩15分

フィルハーモニック・コーラスでは合唱団員を募集しています。詳しくはホームページ <http://ph-ch.com> をご覧ください。

[チケットのお求め方法]

- 合唱団公式ホームページから <http://ph-ch.com/5thconcert/>
 - メール ticket@ph-ch.com ○Fax 045-545-9154 でも受け付けています。Faxでお申し込みの方は、1.氏名 2.住所 3. Fax/電話番号 4.ご希望枚数を上記の番号に送信してください。折り返し、発券方法の詳細をご連絡いたします。
 - 新宿文化センター窓口(9:00~19:00 第2火曜定休/年末年始休)
 - 東京文化会館チケットサービスで前売り ○イープラスでもお取扱いがございます。
- 合唱団事務局 info@ph-ch.com Tel : 090-4170-9414

※再入場の際はチケットの半券をご提示ください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※車椅子での入場をご希望の方は、あらかじめ主催者までご連絡ください。

